

のぞみ155号の発煙事故で緊急申し入れ！

8月9日、東京発広島行き「のぞみ155号」が14号車配電盤から煙が出る事故が発生しました。車内は、一時煙が立ち込め騒然となりましたが乗務員の的確な判断で乗客1000名あまりが乗車されていましたが幸いにもケガ人も出さずに済みました。

しかし、この発煙事故がトンネル内であったならば、重大な事故にもなりかねない事態であるとして新幹線地本は、緊急の申し入れをしました。

発煙の原因は、配電盤内の空調関係のNFBの焼損であるといわれています。会社は、この事故を受けて渡りバーの一斉点検を指示しています。

またぞろ社員への責任転嫁の動きか？

しかし、またぞろ会社は事故を起こしたC49編成が昨年9月に空調NFBの取替えをしていることがわかり、その担当した東京修繕車両所の社員から事情聴取を聞いています。まさか、社員にすべての責任を転嫁するわけではないでしょうね。

「のぞみ155号における発煙事故」に関する緊急申し入れ

2010年8月9日、東京発広島行き「のぞみ155号」が岐阜羽島～米原間走行中、14号車配電盤から煙が出る事故が発生した。乗客1000名あまりが乗車されていたが、乗務員の的確な判断で幸いにもケガ人を出さずにすんだ。

発煙の原因は、配電盤内の空調関係NFBの焼損であったと言われている。このような走行中の機器の焼損・発煙事故は、トンネル内であったならば重大な事故にもなりかねない事態である。さらには、JR東海所属編成の全車両に共通のNFBが焼損したということは、安全上重大な問題であると認識している。よって以下について申し入れるので早急に協議の場を持ち誠意ある回答をすること。

記

1. 今回の事故の発生状況について詳細に明らかにすること。
2. 今回の事故の詳細な原因および再発防止対策について明らかにすること。
3. 事故が発生した当該列車の停止から運転再開までの経過について、当該列車の旅客に対する誘導體制を含めて明らかにすること。
4. 当該列車を除き、他の列車に対して事故情報が全く明らかにされなかった。このことは、事故隠蔽と言っても過言ではない。他列車に対する情報提供のやり方について明らかにすること。
5. 今回のような安全上重大な事故や事態が発生した場合は、すみやかに労働組合との協議の場を設け、説明及び協議を行うこと。

以上